

準備会の役割と会議のルールについて

< 準備会の役割と検討内容 >

1 準備会の役割

公募住民がまとめた「協働のまちづくり研究報告」に提案されている「協働のしくみ」を「実践に向けた組織的な動き」へ移行するため、住民主体の動きとして準備作業を行なうものである。（行政は「協働推進本部」を5月に立ち上げている。）

第4次総合振興計画の掲載施策のうち「住民と行政が協働で行なうと効果的なこと」をメニュー化し実践していくための民主的なプロセスを考える。

2 具体的な検討内容（想定）

- （１）（仮）協まちネットの運営体制 及び 募集要項の作成
- （２）協働メニュー（アクションプラン）の策定準備（公開ワークショップ活用）
- （３）公開ワークショップ企画実施、協働リーフレット原案作成等の広報活動
- （４）その他、協働のまちづくり推進計画全般にかかわる意見交換（本部提言含む）

< 当面の会議進行のルール（案） >

- 1 お互いの立場や意見を尊重すること。個人攻撃や誹謗・中傷はしないこと。
- 2 一方的又は長時間の発言はつつしみ、声の小さい人の意見にも耳を傾け、みんなが会議に参加できるような環境づくりに心がけること。
- 3 特定の政治思想・宗教・営利活動に関する演説・普及行為等は禁止であること。
- 4 あくまで個人の資格での参加であり、団体に所属していても情報提供程度で、会議進行上の優位性や所属団体に対する義務などは発生しないこと。また、以前、協働のまちづくり研究員に参加していたことで情報提供はあっても、準備会の進行を左右しないこと。
- 5 準備会は、一般の住民がまちづくりに参加し、協働が実践できる環境を整えるところ。特定地域の道路改良等の要望、特定分野への行政要望などは別の機会を利用すること。